

2023年度 佐野ケーブルテレビ株式会社 放送番組審議会議事録

2024年3月7日作成

1. 開催日時

2024年2月22日(木)14:30~15:40

2. 開催場所 佐野商工会議所 3階 大会議室

3. 放送番組審議会委員 (敬称略)

■出席者 (敬称略) 4名

矢島 堅司 委員 (佐野商工会議所最高顧問)

永倉 文子 委員 (NPO 法人 CoCoA 理事長)

関塚 保雄 委員 (葛生ロータリークラブ会長)

田村 田 委員 (佐野日本大学短期大学准教授)

■欠席者 (敬称略) 1名

片柳 栄 委員 (足利佐野都市計画事業駅南公園西土地地区画整理審議会会長)

4. 報告事項

【加入状況と今後の取り組み】

【自主制作チャンネル】

- (1) 「佐野ちゃんねる」の番組編成に関する報告と2023年度の取り組み
及び2022年度放送番組審議会でのご指摘・進捗状況報告
- (2) 今後の取り組みに関する報告

5. 番組に対してのご意見・ご感想

- (1) 『さのニュース』カルチャーコーナー「佐野の民話語り」
2023年10月12日号「富士姫物語」・2023年11月16日号「親抱きの松」

質問・回答

- (委員) 民話は地域の大切な文化遺産。続けてほしい番組。
- (委員) 挿絵で中学生とコラボしているのがとても良い。中学生も地域の民話に親し
みを持ってくれたのではないか。
- (委員) 素晴らしい取り組み。今後の活用など、可能性を感じる。
- (委員) 文字(民話)が絵にかからない方が良い。語り部と挿絵を担当した人の名前を
最初から最後まで出しておいてほしい。

- (委員) 結局何を伝えたかったのかがわからなかった。踏み込んで伝えてほしい。
- (委員) ゆかりの地を写真や映像、ナレーション付きで紹介するとよい。
- (SCTV) 担当者の名前表記は来年度から実施する。ゆかりの地紹介は、時間と人員の問題で現状では難しいが検討する。文字が絵にかからないよう制作した場合、1画面あたり2行程度しか表示できない。また文字の部分が切り替わる回数が多くなってしまったため目が疲れてしまうのではないかと。慎重に判断する。

(2) 『さのニュース』 2023年5月8日号

「コロナ第5類移行 佐野厚生総合病院 井上卓副院長にインタビュー」

質問・回答

- (委員) 地域の感染状況や入院の対応など、身近な情報が織り込まれていて参考になった。番組の幅を広げる意味で地域の専門機関と連携するのはとても良い。
- (委員) 医師の言葉は率直にわかりやすく入ってくる。
- (委員) 感染症は皆が不安。時々、プロに話してもらえると安心する。
- (委員) 地元のケーブルテレビで放送するので、市内の具体的な数字や感染状況の推移をグラフで示したり、感染した場合の医療機関の対応を紹介したりしても良い。
- (SCTV) 感染者数については週に1回、県の発表した情報を伝えている。佐野市内の感染状況は安足地区として発表される。より地元に関心した情報を出したい。
- (委員) 今後、花粉症やインフルエンザなどについても流行前から取り上げてほしい。夜間診療などの生活情報も織り込んでどうか？
- (委員) 今後の保険証のことも取り上げてほしい。
- (SCTV) 今年度は熱中症についても取り上げた。今後も病院と協力していく。季節の感染症や夜間診療の情報等はこれまで以上に充実した情報を発信するよう努める。
- (SCTV) これまでの取材で病院とのパイプが出来た。これからも積極的に伝えていく。
- (委員) 番組の作りについて、インタビューの間に見出しが入るのに違和感があった。
- (SCTV) 内容や話しの流れに合わせて適切に見出しを使用していく。

(3) 『街ネタ@プラス』「第31回さの秀郷まつり」

第一部 2023年10月2日～・第二部 10月9日～放送

質問・回答

- (委員) 臨場感はあるが長いと飽きる。メリハリがほしい。文字の情報も欲しい。
- (委員) 左下の文字が読めない。もう少し大きくしてほしい。説明のテロップが足りない。例えばどのような人が神輿を担いでいるのかも説明してほしい。
- (委員) 市役所などわかりきっているかもしれないが場所を文字で表示した方が良い。
- (SCTV) テロップ追加は検討する。
- (委員) 生中継の良さはある。ワクワク感や期待感が自然と伝わるのでしっかり取り組んでほしい。
- (SCTV) 規模縮小もあり、今回は録画で様子を見た。中継は来年度以降検討する。
- (委員) 5G中継についてはどう考えているか？
- (SCTV) 現状、市内における受信地域が限られているため難しい。引き続き情報収集を行い検討する。

6. 番組全体に関するご意見・ご要望

- (委員) 地域の祭りなどを後世に伝えられるように、今から伝統や運営方法などを撮影・取材し残してほしい。10年後、20年後の人が見た時にわかるように。
- (SCTV) 検討する。
- (委員) 防災関係の特集をしてほしい。何かあった時に対応できるよう、いざという時の知恵を紹介してもらえれば。
- (委員) 『かずさんぽ』で防災に関する話題を放送してみてもよい。
- (SCTV) 検討する。
- (委員) 防災において、いざという時の佐野市との連携はどうなっているのか？
- (SCTV) 2017年6月から佐野市と防災協定を結んでいる。
- (委員) 災害時の組織としての対応を、マニュアルとして整えておいてほしい。市との連携や、ケーブルテレビとしての災害放送体制など、組織としての対応を番組の中で市民に伝える機会があってもいい。
- (SCTV) 有事の際は、市役所の議場から中継で市長が市民へ避難などを伝える体制を整えている。今後は佐野市との訓練の様子も含め放送していければ。

(委員) 以前は火災情報が画面に大きく出たが、最近は具体的な情報が少ないと感じる。

(SCTV) 消防本部からメールで受信した情報をデータ放送のトップスクロールで放送しているが、全ての情報が届くわけではない。中には広く放送できないものもある。

(委員) 新番組『月刊身近すぎジャーナル』には地元のほっこりする話題を期待する。

(SCTV) 情報収集して積極的に伝えていく。

以上